

(様式1)

南九教総 第960号

令和5年4月27日

文部科学大臣 殿

南九州市長 塗木 弘幸

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律第12条第4項に
基づき、下記のとおり施設整備計画を提出します（変更したので提出します）。

記

1. 施設整備計画の名称

南九州市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和5年度～令和5年度（1年間）

(担当)

南九州市教育委員会教育総務課

住所：鹿児島県南九州市川辺町平山3234

電話：0993-56-1111

(様式2)

3. 施設整備計画の目標

(1) 老朽化対策を図る整備

川辺中学校の特別教室棟校舎は、築後40年経過しており外壁に浮き、ひび割れ等が発生し危険な状態となっている。生徒等を事故等から防ぐ必要があることから、外壁改修工事を行う。

また、年劣化等により衛生状況が悪化している川辺中学校と九玉小学校のトイレの改修工事を実施し、老朽化した学校施設の教育環境の改善を図る。

※個別施設計画等の他の計画において、施設整備計画期間中の老朽化対策のための目標を定めている場合には、当該他の計画を引用することができる項目

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

宮脇小学校、知覧小学校、霜出小学校、松山小学校、勝目小学校において、校舎や屋内運動場の入り口に高低差があるため、接続箇所の段差解消を図るとともに、多目的トイレの新設等を行い、バリアフリー新法に適合する施設整備を行う。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

脱炭素化の推進、省エネルギー化のため、川辺中学校の武道場及び穎娃小学校、別府小学校、松山小学校、高田小学校の屋内運動場の既存照明器具をLED照明器具に取り替える。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

4. 域内の義務教育諸学校等施設の整備状況

※地方公共団体において策定・公表する既存の類似計画に同旨記載がある場合には、当該地方公共団体の判断により任意に記載することができる項目

(1) 現在の学校等の整備状況

学校等		学校等
小学校		16 校
中学校		3 校
義務教育学校		0 校
中等教育学校(前期課程)		0 校
特別支援学校(小学部及び中学部)		0 校
幼稚園等(特別支援学校の幼稚部を含む。)		2 園
高等学校等(特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含む。)		0 校
教員及び職員のための住宅		45 戸
学校給食施設	単独校調理場	0 箇所
	共同調理場	1 箇所
スポーツ施設	学校水泳プール	19 箇所
	学校武道場	3 箇所
	社会体育施設	22 箇所

(2) 整備に関する計画の策定状況

計画名	策定の有無	策定年月日
個別施設計画※ ¹	有	令和3年3月
国土強靱化地域計画※ ²	有	令和2年12月

※1 インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月29日)に基づく、個別施設毎の長寿命化計画。

なお、『個別施設計画』として策定していない場合でも、個別施設計画に記載すべき事項を他の類似の計画により

確認できる場合(学校施設と他の公共施設とを合わせた計画を策定している場合等)には、「策定済」とすることができることとする。

※2 強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法(平成25年法律第95号)

5. 施設整備計画の目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画の初年度に、目標の達成状況を評価するための指標を検討する。計画期間終了後、指標に基づく評価を実施し、評価結果は市のホームページ等で公表する。
--

(様式3)

6. 施設整備計画の目標を達成するために必要な改築等事業に関する事項(学校ごと)

[illegible]